

どくしょかんそうぶん か 読書感想文を書こう

どくしょかんそうぶん
～読書感想文について～

どくしょかんそうぶん
読書感想文はまず校内審査をします。選ばれた人には、おうちで手直しや清書をしてきてもらったり、おうぼひょう か
応募票を書いてきてもらったりします。そして、かしわし
柏市のコンクールに出品し、そこでも選ばれた場合は、せいしょうねんどくしょかんそうぶんぜんこく
「青少年読書感想文全国コンクール」に進みます。ぶんしょう
文章は自分で考えて書くようにしましょう。

ほん えら かつ 本の選び方

- かくがくねん かだいでとしょ
各学年の課題図書または、その他どんな本を選んでもかまいません。
- 自分のだくしょりょう
自分の読書量に合わせて、無理のない本を見つけましょう。
- どうわ ものがたり
童話や物語が苦手な人はスポーツ・生き物・乗り物など、自分が好きなことから本を見つけると進んで読めそうですね。

かんそうぶん か かつ 感想文の書き方

1. 書く材料集め
 - もっとも感じたことをメモする。
 - きに入ったぶんしょう
気に入った文章をぬき書きする。
 - 自分が体験したことと関連させる。
 - 著者が一番言いたいことを正しくまとめる。
2. 文章の組み立てを考える
 - メモを整理し、文の組み立てを考える。
 - 感想をふくらませる。
「おもしろかった」「かわいそう」だけでなく、「どうしてなのか」「どんなふうに」など、くわしくひょうげん
表現する。
3. 工夫して書く
 - 書き出しを工夫する。
いちばんこころ のこ
一番心に残った文章や感想、会話文などから始めてみる。
 - 題名は「～を読んで」ではなく、本文の内容からぬき出したり、自分の一番書きたいことを題にしたりするのもよい。
4. 読み返す
 - 書き終わったら最後に読み返し、文字の間違いや表現のおかしい文がないようにする。
「。」の使い方に気をつける。文の終わりに、「～です」「～でした」と「～だ」「～だった」がまざらないようにきをつける。
 - おうちの方に読んでもらってアドバイスしてもらおうとよい。

どのくらい書けばよいか

1・2年生……800字程度

げんこうようし つか かつ 原稿用紙の使い方

げんこうようし いちぎょうめ
原稿用紙の一行目から感想文を書き始めます。
だいいい がっこうめい しめい
題名・学校名・氏名は原稿用紙の枠の外に書いてください。

国一読感文2